

パブリック・コメントの結果について

パブリックコメントで提出された意見の概要と意見に対する考え方

意見名 : 神戸電鉄粟生線 地域公共交通総合連携計画 (案)
 意見募集期間 : 平成22年2月3日 (水) ~ 平成22年3月4日 (木)
 意見等提出数 : 90名 (神戸市50名、三木市29名、小野市11名)

方針	事業	具体的な取り組み	詳細	対応
方針1	①企画きっぷの充実と効果的なPR活動	企画きっぷ(7人)	お花見クーポンの発売など	(方針1-①実施の参考にします) 企画きっぷの充実とPRを検討・実施していきなかつ、ご意見を参考にいたします。
			イベント、観光地、行楽地への往復乗車券の発行	
			電車とセットになったいちご狩り、ぶどう狩りなどの割引券	
			他社路線とタイアップした割引企画乗車券の発売	
			日曜祝日に使えるフリー乗車券の通年発売	
			三宮~粟生間乗り放題の1日乗車券を平日、休日問わず通年で毎日発売	
			家族おでかけキップの改良	
	企画きっぷのPR	新企画キップの販売、one day passの発売、往復割引券の発売		
	企画きっぷのPR	「粟生線おでかけきっぷ」を三宮駅・元町駅で積極的にPRする		
		ポイント制度の導入(3人)	粟生線の利用距離に応じたポイントを利用者に付与する(定期利用者も)	(方針1-①実施の参考にします) 企画きっぷのPRとともにICカード利用時のPITAPAポイントサービス内容について案内していきます。
方針1	②割引制度等の充実	運賃値下げ(10人)	恵比須~三宮間の神姫バス程度まで値下げ	(方針1-①②で検討します) 現在の経営状況は厳しいため運賃の値下げは考えておりません(神戸電鉄)。企画きっぷや割引制度の充実を検討し提案していきます。
			市営地下鉄以下の運賃に値下げ	
			他の交通機関に負けない運賃にする	
			運賃自体を下げる	
	定期券代の値下げ(3人)	神姫バスや神戸市営地下鉄と比べ割高である		
		大学生の定期代をさらに割引く		
特定運賃の設定	JR、阪急、阪神と比べ運賃が高い			
	他の交通機関が競争する部分(三宮~押部谷・緑が丘・恵比須等)について、通常の運賃計算と比べて安い運賃を設定する			
②割引制度等の充実	運賃割引(8人)	昼間時間帯の割引	(方針1-②で検討します) 割引制度等の充実を検討していく中で、ご意見を参考にいたします。	
		回数券の割引率の引き上げ		
		神戸高速鉄道との乗継による運賃加算を撤廃する		
		神戸高速線区間まで乗車する場合に、神戸高速区間の運賃を割引く社会実験の実施		
	湊川から新開地の運賃が高い			
高齢者割引(13人)	神戸市の敬老バスを利用可能にする			
	高齢者の割引バスの発行等			
	高齢者への運賃割引を実施			
福祉乗車券の充実				
スルッとKANSAIカード	スルッとKANSAIカードにもお得感を付与			

方針	事業	具体的な取り組み	詳細	対応
方針1	③ダイヤの改善・運行本数見直し等の運行改善	ラッシュ時の増便(3人)	ラッシュ時は1時間あたり6本程度に増便等	(方針1-③で検討します) ダイヤや運行本数、車両の連結数等についてはご意見も参考に検討していきます。
		昼間時間帯の減便(5人)	需要に応じた昼間時間帯の本数見直し	
		現在のダイヤの確保(4人)	現在のダイヤ(15分に1本)を確保する	
		他の鉄道との連絡の改善(6人)	他の鉄道との接続駅での連絡を改善する 北条鉄道との接続。新開地駅での接続	
		粟生線優先のダイヤ編成	粟生線は基本的に準急主体とし、昼間帯にも急行を設定する	
		時間調整する駅の変更	時間調整する駅を西鈴蘭台ではなく、志染・押部谷で時間調整を行う	
		先行列車との接続駅	下りの急行以上の全列車を鈴蘭台で先行列車に接続させる	
		鉄道施設の改良	必要最小限の施設の改良によるスピードアップと行き違いによる待ち時間解消	
		優等列車の運行(8人)	西鈴蘭台～鈴蘭台通過による混雑緩和と新開地までの速達性確保 快速列車の増発と停車駅の見直しにより、所要時間の短縮と利用者の心理的ストレスの軽減を図る 普通列車との緩急接続も実施。木幡・木津駅への快速の停車。特急(快速)電車の運行(増便)等	
		粟生線～有馬線直通快速の新設	直通快速「ありま」として粟生～有馬間の直通により、両沿線からの利用者を取り込む	
	車両の連結数減少(8人)	昼間時間帯は、利用者が少ないので車両の連結数をもっと減らしてもよい 2両～4両編成を各々用意し、時間帯で運用し分ける	利便性のため小野まで15分間にするならば、2両編成にすることを考える 新開地～志染間は4両運転とし、志染～粟生間は2両運転にする 輸送実態に合わせて短編成化する	
		ラッシュ時の両数の増設		ラッシュ時は両数を増やし、男女問わず確実に座れるようにする
		④接客サービスの向上		利用者のマナー向上 利用者(特に高校生)のマナー教育
⑤利用しやすい駅・快適な駅づくり	駅の防犯施設の整備	照明等の設置	(方針1-⑤で実施します) 夜間照明の増設等駅施設の改善を引続き実施していきます。	
	駅の改良	トイレをきれいにする	(方針1-⑤で検討します) 快適な駅づくりのなかで検討していきます。	
	駅のバリアフリー化の推進		(将来の検討事項とします) バリアフリーへの対応は、利用状況や必要性を勘案しながら中長期的に検討していきます。	
	駅へのスロープ設置	車いすでも利用できるような広めのスロープを駅に設置する		
	座席の改造(2人)	クロスシートにする	(将来の検討事項とします) 座席の改造や女性専用車の是非については、お客様の要望を広く伺いながら検討していくことが必要ですので、将来の検討事項といたします。	
	女性専用車両等の廃止(3人)	女性専用車両・優先座席を廃止する 女性専用車両を廃止し、ラッシュ時の混雑率不均衡を解消する オフラッシュ時での女性専用車両の廃止		
	女性専用車両の存続	女性専用車両はありがたい		
	扉設置	車内間扉の設置	(方針1-⑤で検討します) 車内の保温については、ハード・ソフトの面から幅広く検討していきます。	
方針2	①駐停車エリア、駐車場、駐輪場整備及び駅、運行情報等の発信	待ち時間	待ち時間のドアの開閉	
		パーク&ライド駐車場整備(7人)	駅近くに神鉄利用者は無料あるいは安価な駐車場を設置する	(方針2-①で実施します) パーク&ライド、キス&ライド、観光案内板の設置は、対象となる駅を検討して実施していきます。
			葉多駅周辺の転作田をパーク&ライド駐車場として実証実験を行う(3件)	
			パーク&ライド駐車場整備推進による産業団地や自宅などから駅までのバスネットワークを構築する	
キスアンドライドの整備	志染駅南のキスアンドライド、駐輪場の整備			
観光案内板の設置				

方針	事業	具体的な取り組み	詳細	対応	
方針2	②バスとの効果的な接続	駅前バス停の整備	駅前を広くしてバス停を作る	(方針2-②で検討します) 電車到着時刻と整合のあるバスのダイヤや、駅へのアクセスバスについて検討していきます。	
		フィーダーバスの検討(2人)	駅にアクセスするバスを増便する ラッシュ時に木津駅と工業団地をつなぐバス		
		路線バスとの効率的な接続			
	③駅前の特色あるイベントの開催	イベントの開催(4人)	駅舎やホームでのイベント開催	(方針2-③検討の参考にします) 駅前イベントを検討していくなかで、ご意見を参考にいたします。	
			田畑の近い駅に野菜の直売所を設ける		
			駅前の広場などを使った青空市など		
			粟生駅でイベントを企画して集客に努める		
	④駅の空きスペースの活用	店舗等による活用(2人)	喫茶店・理髪店・雑貨店など	(方針2-④検討の参考にします) 駅の空きスペースを活用した活性化策を検討していくなかで、ご意見を参考にいたします。	
			道の駅と駅舎の共同利用		
			地元特産品の売店		
		駅前にコンビニを設置(4人)	利便性向上とともに、駅前を明るくにぎわいをもたらす		
			特産物の改札内限定販売		地元特産物を活用した駅弁、駅スイーツ、駅グッズ等を改札内のみで数量限定販売する
駅ビルの活用		小野駅前駅ビルの神鉄食菜館を開店する			
駅スペースの活用(2人)	市役所の出張所や住民票などの交付機械又はATMなどを設置する	新開地駅構内にここでしか味わえないスイーツやカフェを設置			
方針3	①沿線立地企業等への粟生線通勤・通学利用のPR	企業への補助	粟生線利用促進に協力してくれる市民や企業、団体に対し定期的に一部を補助する	(ご意見への対応は困難です) 現行の制度では運賃に対する補助はできませんが、企画きっぷや割引制度を充実してPRしてまいります。	
			イベント優待券等の配布		神戸電鉄利用者を対象としたお楽しみクーポン抽選会などを行う
	③地域間の各イベントとの連携強化	沿線ツアーの企画	バスツアーのような企画	(方針3-③実施の参考にします) 地域間の各イベントとの連携強化策を実施していくなかで、ご意見を参考にいたします。	
			交流事業として、ハイキングやイベントを実施		大とんど大会や七夕まつり、陣屋まつり、小野まつりなどや地元料理をふるまう。
	④沿線地域における観光資源の魅力的な活用	沿線の神社仏閣、祭との連携	沿線各地域の神社や仏閣、祭を発掘しPR	(方針3-④実施の参考にします) 沿線地域の観光資源活用策を実施していくなかで、ご意見を参考にいたします。	
	⑤魅力的な車窓からの景観づくり	景観を楽しめる車窓づくり	軌道沿いの土地、沿線を手入れし、車窓からお花見、ほたる狩り、もみじ狩り、美しい風景が楽しめる路線にする	(方針3-⑤実施の参考にします) 魅力的な景観づくりの事業を実施していくなかで、ご意見を参考にいたします。	
			未利用地の活用		神戸電鉄が保有する未利用地を市民農園、市民果樹園として有効活用する
			各駅に花壇を設置		各駅に花壇を設置し、緑豊かな都会の電車という発送でメディアを交えてPR
			フォトコンテストの開催		沿線フォトコンテストを開催する
	⑥鉄道に関するイベントの開催	イベント列車の運行(5人)	・いちごやぶどう狩り列車・いもほり列車・三木の金物まつり列車・戦国歴史列車・同窓会列車・婚活イベント列車・保育車両・お花見臨時列車・夏季の「ピアトレイン」・冬季の「おでんトレイン」(日本酒付き)・季節の食材に応じた「おべんトレイン」・映画鑑賞ができる「シネマトレイン」など	(方針3-⑥実施の参考にします) 神鉄トレインフェスティバルの拡大実施やイベント列車の運行を実施していくなかで、ご意見を参考にいたします。	
			神戸西・三木市・小野市でのイベントと連携してのイベント列車		
・芋掘り、いちご狩り、ぶどう狩りとの連携					
・史跡めぐりツアー列車の運行・馬事公苑との連携・花見列車、紅葉列車の運行・有馬温泉直通便の運行					
見津車庫周辺の鉄道公園化			見津車庫の一角を鉄道公園として活用し、電気機関車や鈴蘭台車両工場の入替車等を保存(費用の面から静態保存でも已む無し)		
記念館の建設			鉄道記念館を建設する		
興味を引く車両の導入	興味で乗りたくなる、人を集める機材の導入				
体験乗車(3人)	6000系の乗車会、運転・車掌の疑似体験等				

方針	事業	具体的な取り組み	詳細	対応
方針3	⑥鉄道に関するイベントの開催	サイクルトレインの運行	オフラッシュ時でのサイクルトレインを運行	(方針3-⑥で検討します) サイクルトレインの実施可能性について検討いたします。
	⑦ホームページ等の広報により粟生線の魅力を発信	粟生線の現状のPR 神戸電鉄の魅力をPR	粟生線の現状の問題を大々的に宣伝する	(方針3-⑦で実施します) ホームページ等、幅広い広報により粟生線の魅力を発信、PRしていきます。
方針4	①企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施	マイカーから公共交通利用への転換運動(2人)	マイカーから公共交通利用に転換するよう運動する 三木市・小野間の工業団地通勤者対象	(方針4-①で実施します) 企業に対するモビリティ・マネジメントを実施していきます。
	③沿線自治体職員による公共交通利用率先行動	自治体職員の通勤利用	粟生線を利用できる職員数を明らかにしたうえで利用を呼びかける	(方針4-③で実施します) 県・市職員に対して通勤・出張時等の粟生線利用を働きかけていきます。
方針5	②利用者動向・ニーズに応じた輸送サービスへの改善	車掌の乗務の復活(3人)	安全のため、元の2人での運行に戻す	(ご意見への対応は困難です) ワンマン運転の設備投資を行って安全は確保して運行していると考えておりますので、ご理解ください。
		夜間の運転席の可視化	夜間も運転席でない側だけでも、運転室のカーテンをあけて利用者の不安感を緩和	(ご意見への対応は困難です) 夜間の運転室のカーテン開放は安全運行上対応できませんので、ご理解ください。
方針6	①沿線地域との協力体制の構築	車両や駅施設への出資募集	沿線住民が出資して愛着を醸成	(方針6-①実施の参考にします) 沿線地域との協力体制を構築する事業を実施していくなかで、ご意見を参考にいたします。
		寄付・広告	つり革や車体への広告やサポーターを募集	
		周辺店舗との連携	電車で来店した人には店が何かサービスする仕組みを作る	
		社会見学の実施	夏季休暇時に神戸電鉄を含む沿線企業等の社会見学を実施する	
		地域店舗の車内吊り広告	地域のスーパーや商店などの広告を車内に手軽に吊れるようにする	
		企画のPR	住民とともに、楽しい企画は駅周辺住民に知らせる	
	粟生線サポーターの募集	粟生線サポーターを募集し、イベントの応援スタッフやボランティア駅長、情報誌「SUZURAN」等の沿線レポーターとして活躍していただく	(方針6-①で検討します) 神鉄サポータークラブの設置を検討していきます。	
方針6	②無人駅のボランティア等による有人化	駅の有人化(9人)	有人化して安心感を確保	(方針6-②実施の参考にします) ボランティア駅長等により、安全、安心、活力のある駅を目指します。そのなかでご意見を参考にいたします。
			安全のため有人化する	
			まず、神戸電鉄が、会社として有人駅を増やし、その後ボランティアでの協力を募る	
			有人駅を含めて全ての駅対象とし駅の有人化と経費節減	
			ボランティア等による駅業務の代行	
		無人駅や列車内のスタッフ募集	契約社員として、無人駅や列車内にて利用者への案内・フォローや企画乗車券等の販売を行うスタッフを沿線から募集する	
		駅員呼び出しボタンの設置	無人駅の場合、気軽に駅員に介助を求められる呼び出しボタンを設置する	
		シルバー人材の活用	シルバー人材をうまく活用して経費を抑え、また、サービス向上はできないか	
		こども駅長イベント	「こども駅長」イベントを開催	
有名人の駅長起用	俳優や動物を駅長にする			
駅の防犯機能の向上	全駅への駅員の配置			

その他の意見・要望等	
<p><輸送サービス、運賃等について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本数減らされたり値上げはしてほしくない。 ・運賃の値上げは、利用者数の減少につながる。 ・運賃、本数、所要時間全てが不満と聞いている(押部谷地域)。 ・昼間時間帯について、車内での精算を実施。 ・粟生線を順次、粟生～小野間、小野～三木間廃線にする。 ・カードで定期券や切符を買えばポイントが貯まるサービスの構築。 	<p><駅周辺施設、道路交通等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北播磨総合医療センターへの道路新設。 ・北播磨総合医療センターへの駐車料金を有料にする。 ・神姫バスを市場及び育ヶ丘バス停に止まるようにする。 ・シャトルバス運行(3人) 榎山駅・市場駅から北播磨総合医療センターへのシャトルバス運行
<p><鉄道施設(車両、駅等)について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複線化してスピードアップ、対向車待ちの解消、延着の減少(7人) ・駅改札の設置(3人)(西鈴蘭台駅、三木上の丸駅、小野駅、木津駅) ・臨時の仮設駅の設置。 ・駅を禁煙にしてほしい。 ・粟生線の名称を、地域になじみのある三木小野線に変更する。 ・夏場の自動改札や駅階段の天井のクモの巣を撤去してほしい。(気持ち悪い) ・車両を新しいカラーにして、イメージの刷新を図る。 ・女性専用車両などに阪急電鉄の車両を安く譲渡してもらえばどうか。 ・駅の移設(3人)(大村駅:東へ、市場駅:市場:小学校南東部へ、葉多駅:小野工業高校付近へ) ・新駅設置(2人)(榎山～大村駅間と志染～広野ゴルフ場前駅間) ・市場駅の利活用と周辺整備。保線区があり利用率が良くないため活用を検討する。 ・車両が汚れている。印象が悪い。 ・北条鉄道の小野駅への乗り入れ。 ・ラッピングや車内吊り広告。 	<p><まちの再開発等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅をリフォームし、沿線に住民を呼び込む。(美穂が丘の市営住宅) ・市営住宅への入居を勧誘(2人)(押部谷・美穂が丘周辺、桜が丘東町の栄・第1市営住宅) ・沿線自治体がりハースモーター制度を導入し、高齢者の生活支援と沿線再開発を同時に実現する。 ・田園地帯が広がり自然豊かな沿線の環境をPRし、沿線住民の増加を図る。 ・沿線地域の開発。 ・葉多町及び片山町の土地区画整理事業。 ・住宅地などの誘致し沿線人口を増やす。
<p><神戸電鉄の経営等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・株主は経営陣を監理、監督する責任があり、赤字の責任の一旦を担ってもらうために優待制度の無料乗車を廃止する。 ・官有民営方式を検討事項に加える。 ・第3セクター方式を採用し、神戸電鉄に負担が出ないように借用させ、運営させる。 ・JR粟生駅の貸借料の軽減。 ・神姫バスとの競争激化を避けるためにも、合併も視野に入れた業務提携による共存共栄を図る。 ・神戸電鉄及びその中で粟生線の赤字の根本的原因を明らかにする。 	<p><沿線への企業、学校等の誘致等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学を誘致すれば、学生が集まり、お店ができ、雇用ができ、まちが活性化する。 ・沿線へ私立高校を誘致する。大学や工業団地も誘致。 ・沿線の公立高校に、沿線外からも生徒が来るよう募集する。 ・神戸複合産業団地への企業誘致を積極的に進める。 ・粟生駅周辺に新農業高校を設置。県農と播磨農高を合併する。
<p><駅周辺施設、道路交通等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場・バイク置場を無料化する。 ・木津駅の歩道橋に屋根をつけてほしい。 ・神鉄が主体となってカーシェアリングのシステムを導入し、近所の利用は車、市外へは神鉄の利用を促す。 ・三木市、小野市の中心部に市外から車で来る人から税金を徴収する。 ・駅前広場の整備。葉多駅は利用しにくい。 ・駅からの道を花や木々で飾り、また明るくして快適にする。神戸複合産業団地への道。 	<p><行政関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や自治体の補助(5人) ・神戸市北区は住民税を安くしてほしい。 ・行政の責任としても、地域産業の振興、地域の活性化を図ることを考えてほしい。 ・神戸空港～関空の海上アクセスは利用が少ないのに大金をつぎ込むより、2万人の利用がある粟生線対策に使ってほしい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・粟生線は経済的に独立した採算を把握した上で、存続について協議してもらいたい。 ・廃線はしないでほしい。通勤に利用しており、無くなると大変なことになる。 ・住民の意見を多数の人から十分聞き入れて、利用するのに一番良い方法を取り入れてはどうか。 ・自動車保有台数減少への取組。自動車1世帯1台を提唱する。
<p><駅周辺施設、道路交通等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神鉄が主体となってカーシェアリングのシステムを導入し、近所の利用は車、市外へは神鉄の利用を促す。 ・三木市、小野市の中心部に市外から車で来る人から税金を徴収する。 ・駅前広場の整備。葉多駅は利用しにくい。 ・駅からの道を花や木々で飾り、また明るくして快適にする。神戸複合産業団地への道。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村宿泊等の沿線での行事を開発する。 ・小野警察署等の新たな公共施設を新設あるいは移設する場合は、駅周辺に整備する。 ・鉄道とバスの役割分担を明確にする。現在のままでは共倒れになる可能性がある。 ・意見・提案・要望等を、箱やFAXなどに提出してもらって、返事は自分でホームページを見てくださいで、一方通行すぎて思いやりや感謝の気持ちがこもっていない。 ・提案や要望に対し、出来る出来ないの返事があれば、随時、皆様からの応募がある。 ・神戸電鉄の社員は、粟生線が無くなればお客様が困るのではなく、人員削減で自分の存在が危ぶまれることになることを認識してほしい。